



桃井第一通信

No. 6 4 7

桃井第一小学校
(3390)3178(代)

令和2年 12月号



「道徳授業の充実」

校長 高橋 浩平

本校は、学校経営の柱の一つとして「道徳授業の充実」を掲げています。そのために、校内研究を通して道徳授業の充実を進めています。校内研究の研究テーマは「自己を見つめ、学び合う児童の育成—自分の考えをもち、伝え合うことのできる道徳の授業づくりを通して—」として、昨年度からの継続研究です。

先日、2回目の研究授業を行いました。「自分の考えをもち」「考える道徳」への転換が図られているか、「伝え合うこと」ができてきているか、道徳授業の充実に向けて教職員一同、研究を進めています。

道徳の学習指導要領解説では次のように書かれています。

我が国の学校教育において道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うものとされてきた。これまで、学校や児童の実態などに基づき道徳教育の重点目標を設定し充実した指導を重ね、確固たる成果を上げている学校がある一方で、例えば、歴史的経緯に影響され、いまだに道徳教育そのものを忌避しがちな風潮があること、他教科に比べて軽んじられていること、読み物の登場人物の心情理解のみに偏った形式的な指導が行われる例があることなど、多くの課題が指摘されている。道徳教育は、児童の人格の基盤となる道徳性を養う重要な役割があることに鑑みれば、これらの実態も真摯に受け止めつつ、その改善・充実に取り組んでいく必要がある。(『小学校学習指導要領解説「特別の教科道徳編」』1-2ページ)

保護者の皆さんが小学生の時代には、道徳授業といえば「テレビを見て終わり」ということはなかったでしょうか。以前から道徳に対しては様々な課題、あるいは批判がありました。そうしたことも踏まえつつ、本校は今、道徳授業の「改善・充実」に取り組んでいます。

そして、学校経営の4つの柱「学力向上」「からだ力向上」「道徳授業の充実」「インクルーシブ教育」は、相互に関連し合っています。学力をつけるためには、土台となる「からだ力」がなくてはなりません。「心とからだの健康」を考えた時に「心の健康」を育てていくには、道徳を通じて「分かっていること、知っていること、当たり前だと思っていることとじっくり向き合い考える」ことが重要です。道徳で様々な考え方や思いを交流することでインクルーシブ教育の大切な視点「多様性を認め合う」ことが広がっていきます。これらの関連も意識しながら、さらにこの4つの柱の充実のためにがんばっていきましょうと思います。

教育調査の時期になりました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、いままでのような教育活動ができませんでしたが、来年度に向けて、保護者の皆様からご意見を伺いたいと思います。教育調査にぜひご協力ください。

8月24日から始まった2学期も12月25日の終業式まであと1か月です。少し早いですが、2学期間のご支援・ご協力どうもありがとうございました。3学期もどうぞよろしくお願いいたします。来年は、少しでも新型コロナウイルスが収まっていることを祈りつつ、よいお年をお迎えください。

学校ニュース

*東京都小学生科学展 杉並区選考会において、次の3名の作品が努力賞を受賞しました。

2年 金子 誠歩「空の色のじっけん」 3年 高田 世都「女王アリのかんさつ」

3年 小坂田 皓生「温暖化について」

*杉並区小学校PTA野球秋季大会で、PTA野球部が優勝しました。

12月の生活目標「学校をきれいにしよう」

今年もあと1ヶ月になりました。ご家庭でも、大掃除を始めているところもあると思います。学校も、2学期のしめくくりと合わせ、学校を綺麗にすることを目標にしています。桃一小では現在、放課後に少人数による清掃を行っています。少ない人数ではありますが、子供たちは自分たちが使う教室はもちろん、廊下や靴箱も一生懸命に清掃しています。また、4年生以上の学年は音楽室や図工室など専科の教室、体育館などみんなが使う場所も担当し、きれいにするようにしています。また、ゴミが落ちていたら拾う、自分から進んで掃除をするなど、当たり前のことですが、しっかりと身に付けることができるよう指導しています。

今学期、残り僅かな時間の中でも、子供たちが自分たちで掃除をし、気持ちよく学習、生活できる環境を整え、一年間の汚れをすっきり落として気持ちよく冬休みを迎えることができるようにしていきます。

ぜひご家庭でも、子供たちに役割を与え、計画的に年末の清掃に取り組ませていってください。



クラブ長紹介②



合奏クラブ

クラブ長 奥澤 楓菜

合奏クラブでは皆で決めた曲を色々な楽器を使って演奏します。

イングリッシュクラブ

クラブ長 松島 直嗣

このクラブは、英語を使って遊びをしたり歌を歌ったりします。

鉄道クラブ

クラブ長 筒井 啓太

鉄道クラブは、主に鉄道に関係する遊びをして、楽しく活動しています。

ネイチャークラブ

クラブ長 佐々木 悠登

ネイチャークラブは、桃の井園の環境をととのえるクラブです。

ソフトボールクラブ

クラブ長 古澤 理

野球に近い運動をします。初心者の人でも簡単に楽しくできます。

バドミントンクラブ

クラブ長 松岡 真央

バドミントンクラブでは、主に試合や練習をして楽しく活動しています。

ダンスクラブ

クラブ長 金屋 結

ダンスクラブでは、発表に向けて6年中心にダンスを練習しています。

卓球クラブ

クラブ長 古賀 文夫

卓球クラブでは練習や対戦を繰り返し、一人一人実力を付けています。

一輪車クラブ

クラブ長 武井 華音

いろいろな技を練習して、みんなが楽しく活動しているクラブです。

原っぱクラブ

クラブ長 水城 陽斗

原っぱで楽しく遊ぶ計画を立てて活動しています。

サッカークラブ

クラブ長 井上 光

ラインサッカーは自分たちでルールを決め、協力しながら活動しています。

3年生 社会科見学



3年生は、社会科見学で、郷土資料館、蓮見農園、パールセンターに行きました。郷土資料館では、昔の道具や暮らしに触れ、人々の知恵と工夫に驚いていました。

特に火吹きをする場面では、囲炉裏には料理以外にも暖を取ったり、家族の団欒を大切にしたりする役目があると知りました。独特な煙の臭いや火を絶やさないための工夫などたくさんのお話を五感全てで学ぶことができました。

蓮見農園では園芸農家の仕事について教えていただきました。学校では、農家の仕事について学習してきたので、実物を見ながらの学習ができ、より学びを深いものにできました。

昔は土も山にとりに行き、種も手作業で植えていたそうですが、現在はほぼ分業で行っているそうです。大きな機械や手作りの道具を実際に見た子供たちは目を輝かせながら、たくさん質問をしていました。



4年生 社会科見学



4年生は、社会科見学で奥多摩湖/小河内ダムと羽村郷土博物館に行きました。

奥多摩湖/小河内ダムでは、自分たちの飲み水は、どのように溜められているのかを知りました。奥多摩湖の広さや、ダムの高さに驚いていました。

大自然を感じながらダムの仕組みについて学びました。

羽村郷土博物館では、玉川上水のつくりについて学びました。玉川兄弟が数々の苦勞を乗り越えて、玉川上水を作ったことや、江戸の町にどのような影響を与えたのかを知りました。昔使っていた道具を見て、「道具を使って作業してみたい。」と意欲を高めていました。

